

社会

社会科主任 猪野一洋

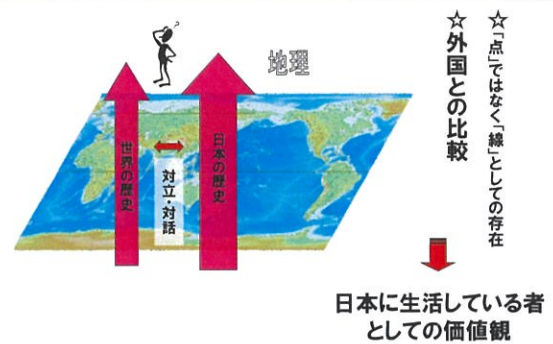
国際社会で活躍できる人材 を育てるための教育

- = 異なる価値観をもつ人たちと、
自己の価値観を対話によって
調整しながら主張していける人材
- 異なる価値観をもつ人たちとの対話
- 答えのない問題に向かっていける力
- 自分の考えを主張できる力

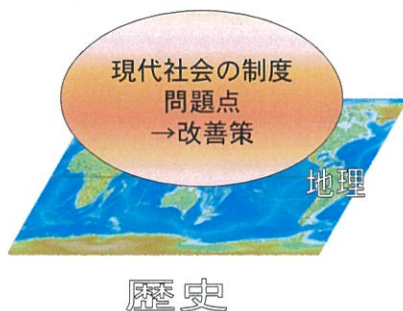
地理



歴史



公民



現状: 大学入試に必要な知識を漏れなく扱う授業

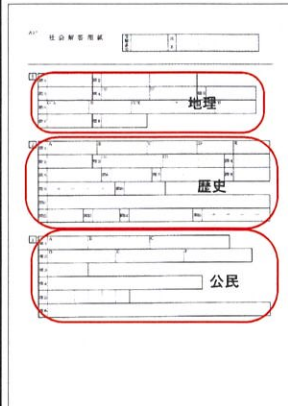
「考えたり表現したりできる力」 を育てる教育へのシフト

- ①基本的な「知識」は所与のものとして行なう授業
- ②小論文入試で問われるテーマを低学年から扱う
- ③「日本に生活の拠点を置いている者」としての価値観
- ④歴史学習においても、地理的な視点を重視
- ⑤Critical reading と Logical thinking&writing

入試問題にどのように反映しているか

Since 1903

- 基本的な知識・用語は、変わらず必須です。
- 原理・原則や原因・背景など、やや深く理解しているかを試す問題もあります。
- 答えが一つではない問題も出したいと考えています。
- 論述する問題は、配点を高くします。



※ 毎年、途中までしか解いていない答案があります。

⇒ できる問題から解いて、完答をめざしてください。

※ 解答用紙はB4サイズ

受験生にありがちなミス

Since 1903

- 漢字の書き間違い
→漢字指定の問題では減点となります。
- 似たような用語の区別ができていない。
→定義をしっかりとっておきましょう。
- 設問の要求に答えていない。
→慌てず設問をよく読むことです。

ここだけは押さえておくべき点

Since 1903

- 地理…地名とその位置、地図や表の読み取り
- 歴史…基本的な人名や用語、年表
- 公民…憲法の条文

社会

2021年度入試のねらいと出題方針

出題方針

- 1、入学後に社会科を学んでいくときに知っておいてほしい、基本的な知識を確認します。
- 2、新聞の一面で取り上げられるような出来事をはじめ、日本や世界の諸事象に関心を向けているかどうかを試す問題も、時事問題として出題します。
- 3、出来事の原因・背景や制度の趣旨に目を向けるという、社会科を学ぶときに必要な力も測定します。

具体的な作問の方針(問題構成)

- 1、知識に関する問題は、小学校の教科書や中学受験用のテキストに出ている頻出事項を中心に出题します。
- 2、全ての問題に目を通すことができるように、時間に余裕を持って読める長さの問題文にしています。
- 3、**1**地理 **2**歴史 **3**公民の順に配列してあります。
- 4、空らんに入る用語を答える問題、下線部の語句について答える問題という形式がほとんどです。1行程度の文章で答える問題も3～6問出題します。
- 5、地形図、グラフ、年表などから読み取る問題も出題します。
- 6、内容に関しては、基本的な用語や年号を確認する問題がほとんどです。
- 7、時事問題を直接的に問う問題は、**1**地理や**3**公民で出題します。

解答を進める上でのアドバイス

- 1、**1**から順番に解く必要はありません。普段の学習で得意としている分野から解くようにしてください。
- 2、難易度順に配列してあるわけではありませんので、分からない小問はとばして全ての問題に取り組むことを目標にしてください。

採点基準と配点について

- 1、配点は歴史に重点を置きます。
- 2、漢字で答えるよう指定してある問題にひらがなやカタカナで答えた場合は、不正解とします。
- 3、短い文章で答える問題では、中心となる用語の誤記は減点しますが、それ以外の言葉はひらがなで書いてあっても減点しません。
- 4、例えば『〔 **1** 〕権』という空らんに解答する際に、『〔行政権〕権』と言葉を重複して解答してしまった場合は、減点します。

2020年度入試採点結果の分析

A入試

地理 **1** では桜島(鹿児島県)の地形図の読み取りを中心に出题しました。歴史 **2** では世界遺産をテーマとした文で、それに関連する事柄を中心に出题しました。公民 **3** では地方自治についての基本的な問題を出题しました。

得点率(任意抽出した100通の答案に基づいたものです)

- 1** 問1 : (1) 79% (2) 35% (3) 80% 問2 : (1) 85% (2) 76% (3) 62% (4) 26% 問3 : 62% 問4 : 70% 問5 : (1) 72% (2) 68% (3) 26%
部分点 21% **1**全体 : 61%

- ② 問1 : A56% B87% C84% D16% E76% 問2 : 47% 問3 : 31% 問4 : 61% 問5 : 19% 問6 : 78% 問7 : 77% 問8 : (1) 65% (2) 47% 問9 : 72% 問10 : 92% ②全体 : 59%
- ③ 問1 : 58% 問2 : (1) 40% (2) 22% 部分点 5% 問3 : (記号) 64% (理由) 28% 部分点 5% 問4 : 33% 部分点 11% 問5 : 38% 問6 : 30% 部分点 51% 問7 : 42% ③全体 : 42%

B入試

地理 ① では日本と世界の関わりについての問いとして、時事問題を中心に出题しました。歴史 ② では歴史上の人物をテーマとした文で、関連する基本的な歴史用語やその理解を中心に出题しました。公民 ③ では時事的な事象から地理・歴史の内容に関連する内容を横断的に問う出题としました。

得点率 (任意抽出した 100 通の答案に基づいたものです)

- ① 問1 : 22% 問2 : 82% 問3 : 88% 問4 : (1) 67% 部分点 14% (2) 76% (3) 83% (4) 66% 部分点 0% 問5 : (1) B94% 国名 92% E80% 国名 92% ①全体 : 74%
- ② 問1 : A39% B75% C46% D85% E59% F65% G48% H46% I72% 問2 : I85% II78% III89% 問3 : 81% 問4 : 97% 問5 : 10% 部分点 37% ②全体 : 62%
- ③ 問1 : 91% 問2 : 27% 問3 : (1) 45% 部分点 1% (2) 11% 部分点 86% 問4 : (1) 85% (2) 12% 部分点 17% 問5 : (1) 54% (2) 71% 問6 : (1) 21% (2) 12% ③全体 : 47%

C入試

地理 ① では本校が所在する港区の自然や産業について出题しました。歴史 ② ではますますグローバル化が進んでいる現状を踏まえ、年表形式で対外関係史について出题しました。公民 ③ では基本的な内容を問う問題とニュース等の内容を正確にとらえて考える問題を出题しました。

得点率 (任意抽出した 100 通の答案に基づいたものです)

- ① 問1 : (1) 16% 部分点 1% (2) 62% 部分点 22% (3) 35% 問2 : (1) 83% (2) 35% (3) 86% (4) 73% (5) 78% 問3 : (1) 85% (2) 78% (3) 92% (4) 52% ①全体 : 61%
- ② 問1 : A23% B74% C76% D93% E51% F78% G51% H75% I43% 問2 : 89% 問3 : 45% 問4 : 63% 部分点 14% 問5 : 84% 問6 : 30% 問7 : 34% ②全体 : 62%
- ③ 問1 : 84% 問2 : 42% 問3 : 4% 部分点 1% 問4 : 36% 問5 : 46% 問6 : (1) 9% 部分点 14% (2) A36% B93% C89% D84% E76% 問7 : 17% ③全体 : 44%

地理・歴史・公民いずれの分野についても、基礎・基本の学習事項が身につけているかを試す問題が中心でした。一部、地図やグラフを読み取る問題、論述式の説明問題が出题されました。また、時事問題については、教科書などで学習した内容と結びつけられているかを試す問題もありました。

例年のように、ABCいずれの入試においても、漢字の書き間違いによる失点が多く見られました(例えば、垣武天皇など)。まんべんなくよくできている答案が一定数あった反面、似たような用語の区別がついていないとか(例えば、国際連盟と国際連合の区別など)、時代ごとのできごとが頭の中で整理できていないとか、知識がうろ覚えの状態だとか、準備不足と感ぜられる答案もたまに見られました。論述問題については、設問の要求がつかめていない答案もありました。

基礎・基本事項の徹底を図ること、1行程度の論述問題にも解答できるよう理解を深めることが重要です。